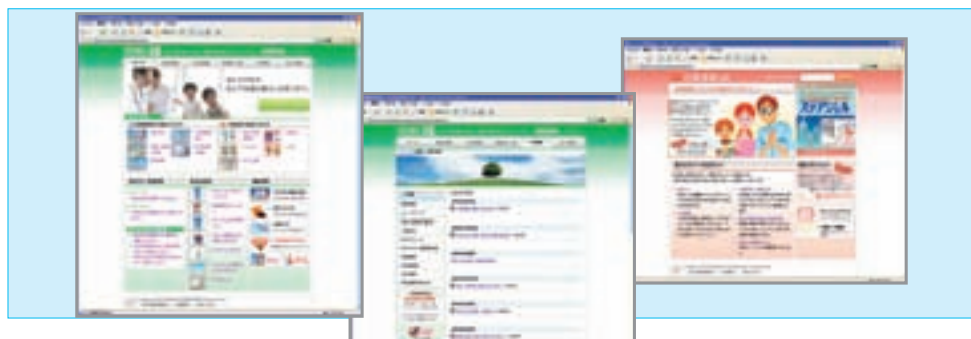


川本産業のホームページもご覧ください。



<http://www.kawamoto-sangyo.co.jp/>

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
 剰余金の配当基準日 3月31日
 (中間配当を行う場合は9月30日)
 定時株主総会 毎年6月下旬
 単元株式数 1,000株
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社
 上場取引所 株式会社東京証券取引所 市場第二部
 株式会社大阪証券取引所 市場第二部
 証券コード 3604

<郵便物送付先・お問い合わせ先>

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取以外の株式売買は出来ません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

公告方法 電子公告 (<http://www.kawamoto-sangyo.co.jp>)

ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

○上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年6月および12月にお支払いする配当金について株主様あてに「支払配当金額」や「源泉徴収税額」等を記載した「支払通知書」を通知することとなりました。配当金を配当金額取証にて受取られる株主様は来年度の確定申告手続きに合わせて平成21年末～平成22年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。

(なお、口座振込を指定されている株主様は配当金をお受取の際に送付されている「配当金計算書」が「支払通知書」となりますので、引続き確定申告の際の添付資料としてご利用ください。)

○株主様のご住所・お名前等に使用する文字に関するご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等(いわゆる「外字」)が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

なお、特別口座にて管理させていただいております株主様には、平成21年2月に「特別口座開設のご案内」をお送りしており、そのご案内の中のご注意事項で使用文字の制限についてご案内しております。



第80期中間報告書

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで

P1.....トップメッセージ
 P3.....トピックス
 P4.....製品のご案内
 P5.....部門別事業概況
 P7.....中間財務諸表
 P9.....会社概要
 P10.....株式情報




 川本産業株式会社

〒540-0022 大阪市中央区系屋町二丁目4番1号 TEL.06-6943-8951



この報告書は、環境に配慮し、古紙配合の再生紙と植物油インクを使用しています。

 川本産業株式会社

証券コード 3604



代表取締役社長
武元 康暉

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。平素は格別のご支援ご愛顧を賜わり厚くお礼申し上げます。さて当社第80期中間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)事業年度を終了いたしましたので、事業の概況並びに主要事項をご報告申し上げます。

Q 当中間期における事業環境と業績はいかがでしたでしょうか

A 新型インフルエンザの国内での流行により感染予防関連製品の需要が増加いたしました

当医療衛生材料業界におきましては、厳しい環境が継続するものの、新型インフルエンザの国内での流行により、感染予防に関する製品の需要は上昇いたしました。

このような状況下で当社の当中間期の業績は、売上高165億57百万円(前年同期比16.1%増)、営業利益4億84百万円(同451.8%増)、経常利益3億70百万円(同206.4%増)、中間純利益2億11百万円(同196.6%増)となりました。

製品では、マスク・医療用使い捨て手袋・手指消毒剤などの「感染予防関連製品」の需要が増加し、手術・検査・処置用の医療用品を詰め合わせて滅菌した「セットパック製品」や「口腔ケア用品」などの重点販売製品を中心とした医療用品および介護用品も増加いたしました。一方、商品では、大手量販店向けの育児用品および医療機関・ドラッグストア向けの感染予防品などの医療用品が増加いたしました。これらの結果、製品売上高は77億83百万円で前年同期比9.1%増加し、商品売上高は87億74百万円で同23.1%増加いたしました。

利益面では、従来から進めてまいりました生産体制の効率化や販売価格の適正化見直しによって、製品の売上総利

益率が一部改善したことと売上高増加によって売上総利益が増加し、経費面で販売費及び一般管理費において運賃関連経費が増加いたしました。営業利益は同451.8%増加となりました。

また、営業外費用において、デリバティブ評価損(為替予約評価損)が1億27百万円発生いたしました。上記利益面での要因により、経常利益は同206.4%増加となり、中間純利益は同196.6%増加となりました。

Q 下期の重点施策と通期の展望をお話ください

A 積極的な自社製品の販売と生産体制の効率化により、さらなる売上高および利益面の向上策を実施してまいります

下期におきましては、上期に引き続き新型インフルエンザの流行拡大懸念による需要の増加が見込まれる感染予防関連製品の生産・販売体制の強化に努めるとともに、重点販売製品の販売拡大そして医療機関および在宅医療・在宅介護のニーズに適合した自社製品の販売を一層強化してまいります。また、さらなる生産体制の効率化を促進し、経費の効率的な支出に努めるとともに、全社をあげて管理面の強化をはかり、売上高および利益面の向上策を積極的に実施してまいります。

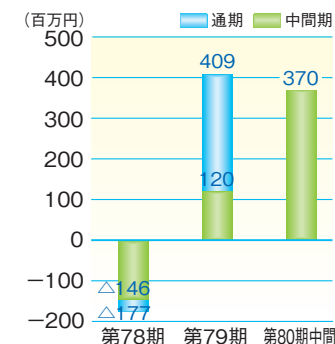
通期業績予想につきましては、売上高326億円(前期比9.0%増)、営業利益7億60百万円(同96.5%増)、経常利益6億30百万円(同54.0%増)、当期純利益3億55百万円(同59.9%増)を予想しております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

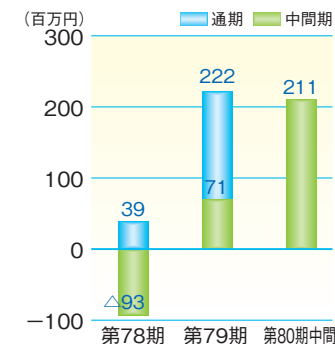
■ 売上高



■ 経常利益

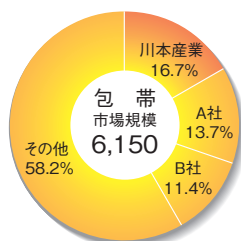
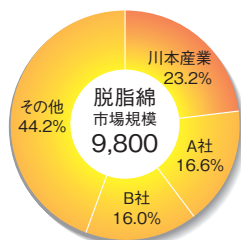
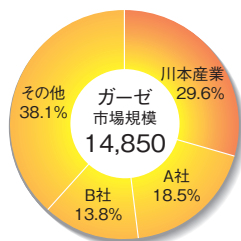


■ 中間(当期)純利益



■ ガーゼ・脱脂綿・包帯

■ 医家向けシェア (単位:百万円)



資料: 矢野経済研究所 ('08~'09年版) 2007年度シェア

新製品、鏡視下臓器圧排用スポンジ「エンドラクター™」に関する発表が学会で表彰されました

平成21年12月発売の新製品、鏡視下臓器圧排用スポンジ「エンドラクター™」について、兵庫県立がんセンター消化器外科の土田 忍先生が、本年7月16日から18日開催の「第64回 日本消化器外科学会総会」、本年9月9日から12日開催のアメリカの学会「THE 18th SOCIETY OF LAPAROENDOSCOPIC SURGEONS」において発表され、それぞれ優秀賞を受賞されました。



製品の概要

- (1) 製品名 鏡視下臓器圧排用スポンジ「エンドラクター™」
- (2) 用途 鏡視下手術時に、圧縮したスポンジを体腔内で吸水・膨潤させることで、視野の障害となる臓器を圧排する製品です。
- (3) 製品特長
 - ・ 鏡視下手術時に目的外臓器を排除するため、患者を極端な頭低位する場合がありますが、当製品の使用により、水平位に近い状態で手術を行うことが可能なため、リスクを軽減します。
 - ・ 一度圧排すると長時間圧排を維持できるため、臓器の落ち込みによる術者のストレスを軽減します。
 - ・ 圧排面は最大約260mm×72mmにまで膨らみますので、腸などの排除困難な臓器に対しても、広範囲に圧排が可能です。
 - ・ スポンジ素材のため臓器に対して愛護的で、金属製の圧排器具等と比べて臓器を損傷するリスクを軽減します。
 - ・ 両側面にX線造影材を溶着しており、X線で容易に判別が可能です。



「第64回日本消化器外科学会総会」賞状



「THE 18th SOCIETY OF LAPAROENDOSCOPIC SURGEONS」賞状

KMBニトリル手袋 エクストラソフト

医療用使い捨て手袋
「KMBニトリル手袋 エクストラソフト」
(平成21年秋発売)



■製品特長

- ・ 指先の厚みが薄くなり、繊細な作業もしやすくなりました。
- ・ 伸縮性抜群で、よりしなやかに手にフィットします。
- ・ 合成ゴムを使用しているのでラテックスアレルギーの心配がありません。
- ・ パウダーフリーなのでパウダーの飛散による影響を防止できます。
- ・ サイズは、SSからLまでの4種類があります。

鼻腔拡張テープ シトラスラベンダー

「鼻腔拡張テープ シトラスラベンダー」
(平成21年秋発売)



■製品特長

- ・ 鼻がつまる時、就寝時、リラックスしたい時などに、鼻通りスッキリ!!
- ・ さわやかなシトラスとやさしいラベンダーの香りをミックス。

消毒綿棒 ポビドンプラス

綿棒付き10%ポビドンヨード製剤
「消毒綿棒 ポビドンプラス」
(平成21年春発売)

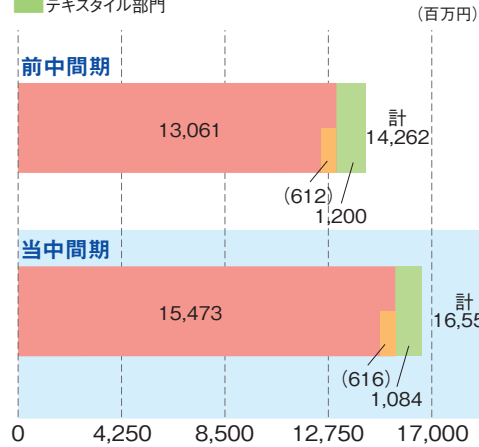


■製品特長

- ・ 感染リスクを軽減し、手間・時間・薬剤使用量をカット。
- ・ 軸に薬液が付きにくいループ構造。
- ・ 綿棒1本あたりの薬液が1.5mLと4.5mLの2種類があります。

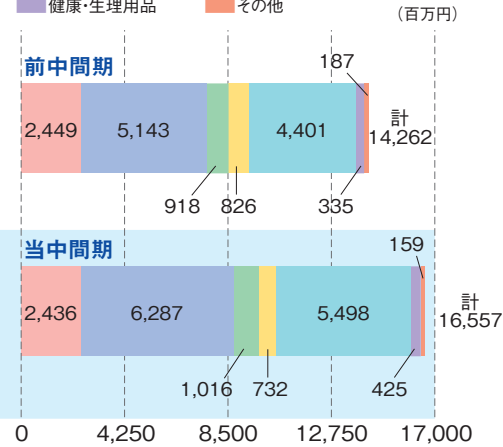
■部門別売上高

- メディカル部門
- (貿易部)
- テキスタイル部門



■品目別売上高

- 繊維製衛生材料
- 医療用品
- 介護用品
- 薄織物繊維加工品
- 育児・トイレタリー用品
- 健康・生理用品
- その他



貿易部では、円高が進行したことや一部の原材料・製品価格が高騰したことなどのマイナス要因がありましたが、主力の国内製衛生材料・医療用品にアジアからのアウトソーシング製品を加えて、中近東を中心に幅広い市場に対して積極的な販売活動を実施し、売上高は微増となりました。

これらの結果、メディカル部門全体の売上高は154億73百万円で、前年同期比18.5%増加いたしました。

輸入では、前期に引き続き、主要供給国である中国を中心に、欧州、アジア、米国、中東と世界各地より幅広く輸入を行いました。輸入品目は、ガーゼ、ラテックス・ニトリル手袋、三角巾、ネット包帯、滅菌舌圧子等の製品、そして鋼製小物・ピンセット・トレイ等のセットバック製品用部材など多岐にわたり、感染予防製品の需要が増加したことも影響して、輸入額は同30.3%増加しました。

中国上海の協力工場につきましては、大阪工場の医療用ガーゼ製品の一部生産工程の移管を推進しており、高品質で低価格な医療用ガーゼの安定供給拠点として、さらに重要性が増してまいりました。



貿易部 血圧計カタログ

メディカル部門

医療用品・介護用品・育児用品の販売が好調に推移し、売上高は増加いたしました

医療機関向けでは、マスク・医療用使い捨て手袋・手指消毒剤などの「感染予防関連製品」の需要増加への対応に注力し、そして「セットバック製品」、個包装消毒綿「ステリコットα」や「口腔ケア用品」の重点販売製品につきましても一層の強化に努めてまいりました。また、近年進めてまいりました生産体制の効率化や販売価格の適正化見直しにより、一部製品の売上総利益率が改善いたしました。

薬局および量販店向けでは、製品は、需要が増加したマスク・手指消毒剤などの「感染予防関連製品」や滅菌済みガーゼ「ケーパイン」の販売強化に努めるとともに、商品につきましても、感染予防に関連するマスク・体温計・手指消毒剤などの販売を強化いたしました。また、大手量販店との取引関係の強化により育児用品の売上高も増加いたしました。



「セット・バック製品」

テキスタイル部門

大手量販店へのベビー用衣料製品の販売強化に努めましたが、素材販売・ねまき・てぬぐいの需要落ち込みにより売上高は減少いたしました

テキスタイル部門は、特に前期後半からの大幅な需要の落ち込みが続いている国内縫製業者向けの素材販売およびねまき・てぬぐいの売上高は減少いたしました。一方、ベビー用衣料品につきましては、大手量販店への販売強化に一層積極的に取り組みました。

これらの結果、テキスタイル部門の売上高は10億84百万円で同9.7%減少いたしました。



テキスタイル部門「ベビー用衣料品」

■ 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前中間期 (平成20年9月30日現在)	当中間期 (平成21年9月30日現在)	前 期 (平成21年3月31日現在)
① 流動資産	9,064,988	10,454,488	10,072,908
固定資産	6,439,707	6,246,472	6,331,209
有形固定資産	5,086,747	5,008,108	5,099,024
無形固定資産	60,478	50,198	61,278
投資その他の資産	1,292,481	1,188,165	1,170,907
資産合計	15,504,696	16,700,960	16,404,117
② 流動負債	8,083,027	9,055,012	8,625,619
③ 固定負債	3,273,497	3,285,364	3,608,529
負債合計	11,356,525	12,340,376	12,234,149
株主資本	3,988,478	4,278,284	4,103,226
資本金	883,000	883,000	883,000
資本剰余金	1,192,597	1,192,597	1,192,597
資本準備金	1,192,597	1,192,597	1,192,597
利益剰余金	1,915,162	2,205,432	2,029,909
利益準備金	86,100	86,100	86,100
その他利益剰余金	1,829,062	2,119,332	1,943,809
配当引当積立金	5,000	5,000	5,000
別途積立金	1,000,000	1,000,000	1,000,000
繰越利益剰余金	824,062	1,114,332	938,809
自己株式	△ 2,280	△ 2,745	△ 2,280
評価・換算差額等	159,692	82,300	66,742
その他有価証券評価差額金	159,692	82,300	66,742
④ 純資産合計	4,148,171	4,360,584	4,169,968
負債及び純資産合計	15,504,696	16,700,960	16,404,117

① 流動資産

流動資産は前期末に対して3億81百万円増加しました。「現金及び預金」が2億19百万円減少、「受取手形」・「売掛金」が3億86百万円増加、「たな卸資産」が76百万円減少、「前払費用」が19百万円増加、「短期貸付金」が25百万円減少、「未収入金」が2億91百万円増加したことが主な要因です。

② 流動負債

流動負債は前期末に対して4億29百万円増加いたしました。「支払手形」・「買掛金」が41百万円減少、「1年内返済予定長期借入金」が3億98百万円増加、「未払費用」が30百万円増加、「未払消費税等」が43百万円増加したことが主な要因です。

③ 固定負債

固定負債は前期末に対して3億23百万円減少いたしました。「長期借入金」が4億9百万円減少、「リース債務」が24百万円減少、「退職給付引当金」が9百万円減少、「為替予約」が1億27百万円増加したことが主な要因です。

④ 純資産

純資産は前期末に対して1億90百万円増加いたしました。「繰越利益剰余金」が1億75百万円増加、「その他有価証券評価差額金」が15百万円増加したことが主な要因です。

■ 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	当中間期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前 期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高	14,262,282	16,557,686	29,900,981
売上原価	11,685,098	13,402,182	24,519,273
売上総利益	2,577,183	3,155,503	5,381,707
販売費及び一般管理費	2,489,396	2,671,078	4,994,969
営業利益	87,787	484,425	386,737
営業外収益	149,344	120,935	252,431
営業外費用	116,184	234,783	229,995
経常利益	120,947	370,578	409,173
特別利益	5,822	4,727	22,476
特別損失	33,201	6,816	53,748
税引前中間(当期)純利益	93,569	368,488	377,902
法人税、住民税及び事業税	9,479	156,827	171,100
法人税等調整額	12,772	166	△ 15,233
中間(当期)純利益	71,316	211,494	222,035

■ 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	当中間期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前 期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 105,092	△ 114,144	477,497
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,618	△ 28,437	△ 39,089
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 152,347	△ 75,039	△ 346,156
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,215	△ 1,548	△ 2,673
現金及び現金同等物の増減額	△ 247,606	△ 219,170	89,578
現金及び現金同等物の期首残高	939,850	1,029,428	939,850
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	692,244	810,258	1,029,428

会社概要

■会社概要 (平成21年9月30日現在)

社 名 川本産業株式会社
 設 立 昭和6年1月
 資 本 金 883,000,000円
 従 業 員 数 622名 (内、契約雇用者数125名)

■役員 (平成21年9月30日現在)

代表取締役社長 武 元 康 昶
 代表取締役副社長 川 本 武 茂
 ※専 務 取 締 役 向 井 新 年
 ※取 締 役 川 本 藤 雄
 ※取 締 役 安 藤 新 年
 ※取 締 役 佐々木 功 雄
 常 勤 監 査 役 北 原 邦 廣
 監 査 役 日 上 俊 彦
 監 査 役 山 本 久 彦
 (注) 監査役日上俊彦、山本久男氏は社外監査役であります。
 ※印の取締役は執行役員を兼務しております。

■執行役員 (平成21年9月30日現在)

執 行 役 員 山 野 正 博 一
 執 行 役 員 塩 野 本 宗 博 一
 執 行 役 員 岡 本 田 博 一
 執 行 役 員 横 岡 田 博 一
 執 行 役 員 川 本 博 一

■事業所

● 本 社 〒540-0022
 大阪市中央区糸屋町2-4-1
 TEL.06-6943-8951

- 支 店
 ● 東 京 支 店 東京都杉並区阿佐谷北6-1-6
- 営 業 所
 ● 仙 台 営 業 所 宮城県仙台市泉区泉中央3-18-4 オフィス21泉4F
 ● 千 葉 営 業 所 千葉県市川市大和田4-19-2
 ● 埼 玉 営 業 所 埼玉県加須市花崎5-31-1
 ● 東 京 営 業 所 東京都中央区日本橋久松町11-8 日本橋118ビル3F
 ● 名 古 屋 営 業 所 愛知県名古屋市中区城西3-12-12
 ● 京 都 営 業 所 京都府京都市南区上鳥羽岩ノ本町82-1
 ● 堺 営 業 所 大阪府堺市堺区大浜南町2-5-8
 ● 南大阪第1・第2営業所 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20
 ● 神 戸 営 業 所 兵庫県神戸市東灘区住吉南町3-3-5
 ● 広 島 営 業 所 広島県広島市中区白島中町2-2
 ● 福 岡 営 業 所 福岡県福岡市博多区博多駅東3-1-8 ヒロショービル2F
- 出 張 所
 ● 高 松 出 張 所 香川県高松市多肥下町21-1
- 駐 在 所
 ● 札 幌 駐 在 所 北海道札幌市東区北26条東8-2-1 サンシャイン85 208号
 ● 鹿 児 島 駐 在 所 鹿児島県鹿児島市西陵3-23-20
- 工 場
 ● 大 阪 工 場 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20
 ● 埼 玉 工 場 埼玉県加須市花崎5-31-2
- 物 流
 ● 大 阪 和 泉 物 流 セ ン タ ー 大阪府和泉市伏屋町5-5-12

株式情報 (平成21年9月30日現在)

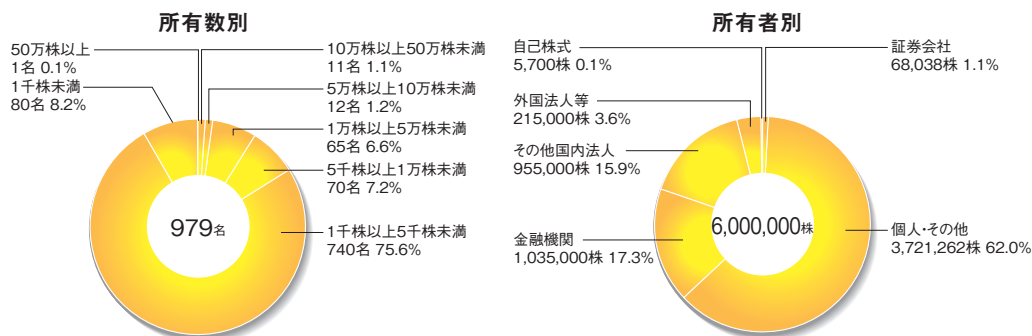
■株式の状況

発行可能株式総数 16,000,000株
 発行済株式の総数 6,000,000株
 株主数 979名

■大株主

株 主 名	当 社 へ の 出 資 状 況	
	持 株 数 (株)	議 決 権 比 率 (%)
巴株式会社	600,000	10.0
川本社員持株会	442,250	7.4
株式会社みずほ銀行	249,500	4.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	249,500	4.2
伊藤忠商事株式会社	196,000	3.3
株式会社りそな銀行	175,000	2.9
川本 洋之助	170,800	2.8
川本 晴男	153,600	2.6
川本 武	143,000	2.4
カワモト取引先持株会	123,000	2.1

■株主分布状況



■株価および売買高の推移

